大門パークゴルフ協会と親善交流

今年、8月8日から4日間、剣淵町パークゴルフ（以下「PG」と表記。）協会員12名が、富山県射水市において、大門PG協会員67名と交流大会を行いました。

富山県射水市と剣淵町は、平成7年6月に旧大門町、平成18年5月に現射水市と友好都市提携以降、越中だいもん凧まつりや、ふるさと・産業まつりなど、両町の町づくりのため、視察研修等の交流を深めてきました。

今回で4回目となる交流大会は、町民の自主的交流事業として、町の補助金を一部活用して行われました。

剣淵PG協会訪問団

交流大会では、「互いの協会の繁栄を祈りたい。」と挨拶があり、親交の深い仲間たちと、和気あいあいの雰囲気で、プレーを楽しみました。

懇談会の様子

この交流は、平成19年8月の「第1回全国パークゴルフ交流大会in射水」に、剣淵町から大河邦晃会長、髙橋修前教育長、故杉浦敏和杉浦建設社長、秋庭良雄事務局長の4人が参加したことがきっかけとなり、その後、大門PG協会が来町され、桜岡高台コースで剣淵PG協会との交流が始まりました。大門PG協会は平成9年に設立され、現在は会員186名、剣淵PG協会は会員50名で、北海道発祥のパークゴルフを通じて、親交を深めています。

交流大会の様子

『昨年は、16名の大門PG協会員が来町され、豊年踊りやイベントに参加いただき、PG以外でも、夏まつりを盛り上げてもらいました。また、夏野元志市長、髙橋賢治市議会議員（大門パークゴルフ協会顧問）や協会員からは、いつも大歓迎してもらい恐縮しますが、これまでの様々な交流を通じて、両町の町づくりの一助になればと思っています。』と秋庭良雄事務局長が感想を語られました。

夏野市長への表敬訪問

歴代大門PG協会会長と大河会長

髙橋賢治さん宅での歓迎会